

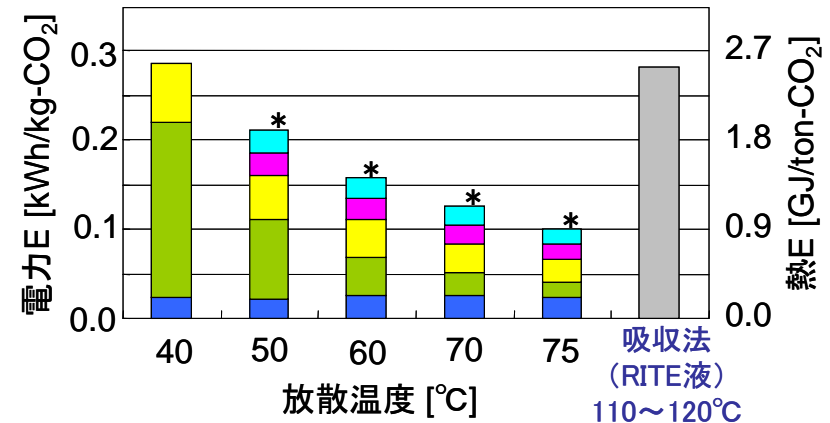
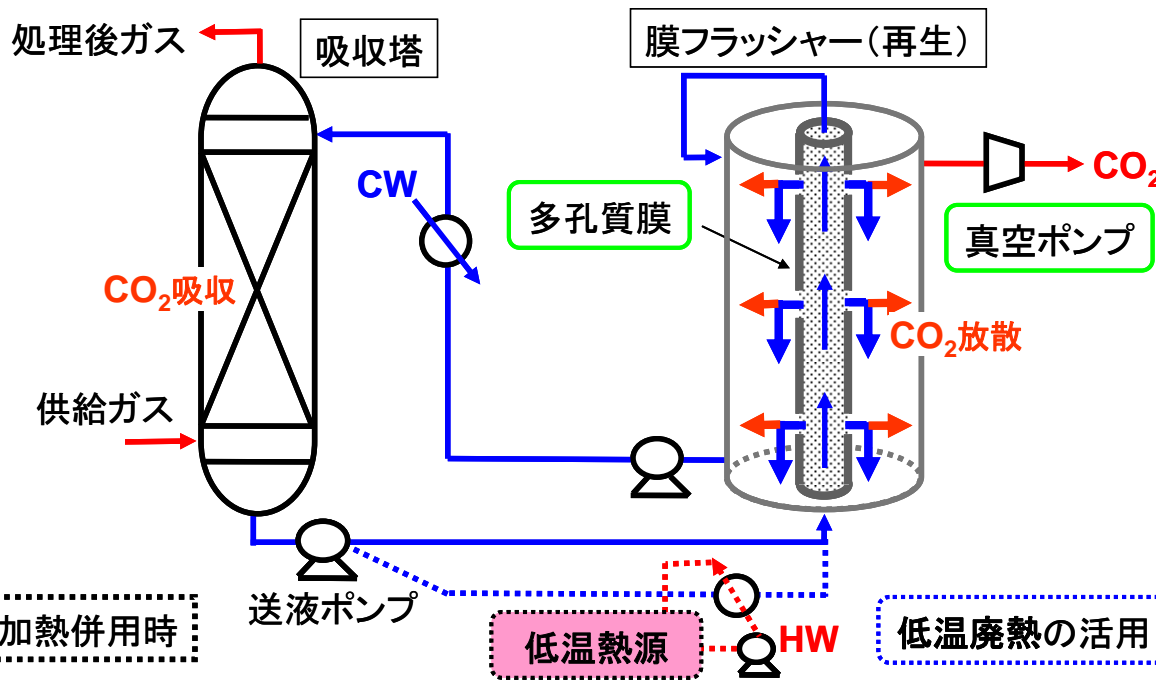
新しい化学吸収液再生技術 「膜・吸収ハイブリッド分離技術」

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構
化学研究グループ



膜・吸収ハイブリッド分離技術の開発

目的 膜の微細孔から圧力差で吸収液をフラッシュすることによりCO₂を放散させる「膜フラッシュ再生」技術の開発 → 化学吸収法のエネルギー消費低減



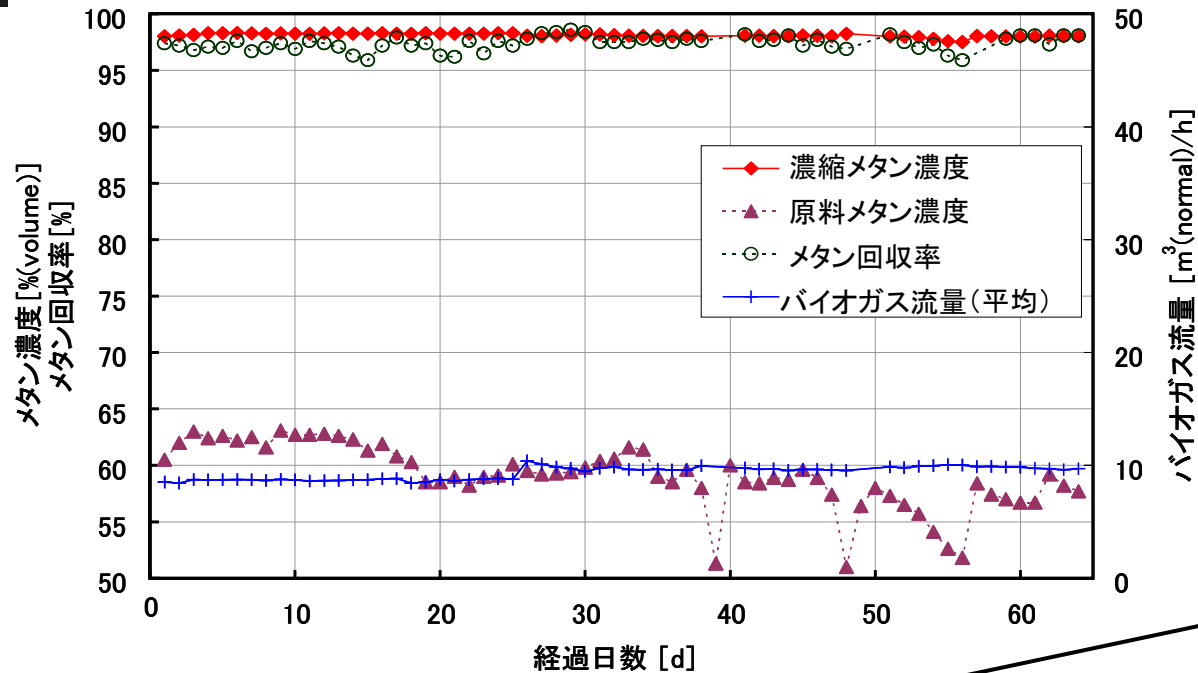
主要機器の消費エネルギー(電力)

CO ₂ 濃度: 12%	■ 冷却水(30°C)循環ポンプ
吸収液: 2M DEA	■ 温水循環ポンプ
膜: アルミナ 1.0μm	■ 真空ポンプ
温度: 吸収 40°C	■ 吸収液循環ポンプ
放散 40~75°C	■ ブローア

RITEが基本特許取得済

* 100°C以下の未利用熱エネルギー(上記電力エネルギーの約10倍量必要)を活用するため 加熱のエネルギーは含まない

バイオガス濃縮実ガス試験(北海道)



膜モジュール



試験装置

— RITE / 大陽日酸 (株)

共同開発 —